

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポートセンター すてーじ		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 1 月 24 日		～ 令和 8 年 2 月 14 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27 (25)	21
○従業者評価実施期間	令和 8 年 1 月 17 日		～ 令和 8 年 1 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 2 月 20 日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・「将来に向け、今より少しでも自分で出来る事を増やそう」を念頭に掲げ、最初は支援員がサポートしながら取り組み、実生活に則した課題や活動を中心に取り組んでいます。	・実践してみた時の様子を職員間で共有しながら、成長の段階に合わせて、サポートの内容を話し合い、統一した支援をしています。	・担当職員が課題の準備をしているので、マンネリ化しないよう、職員間での情報共有を充実させ、アイデアを出し合い、少しずつステップアップできるようにしていきます。
2	・小学校高学年から、夏休み等の長期休みを利用して、系列の就労事業所や、近隣の事業所に作業体験に行っています。	・体験時はサポートがしっかりできるよう、少人数での作業体験を実施しています。 ・保護者様や担当の相談員さんに、作業体験の日程表を配布して、体験の様子を見学できるようにしています。また、動画や写真等を保護者様に見ていただき、作業の様子をお伝えしています。	・体験や見学できる事業所を増やしていきます。
3	・施設が広く個室が充実しているので、個別の支援や集団での活動などで使い分けしています。	・その日の様子を見ながら、集中できる環境づくりをしています。	・利用されているお子さまの年齢の幅が広いので、活動内容によっては小学生と中高生の部屋を分ける事も必要だと思います。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様や職員に対して、詳細な説明が不足していたのではないかと思います。	・保護者様とは、面談や書面、LINEでのやり取りをさせていただいていますが、詳細な説明が不足していたことが、周知されていない要因です。 ・職員とは、今やっていることが、専門用語で言えばこういう事など、しっかり説明していなかったことが要因です。	・保護者様には、今までの面談や書面、LINEに加え、送迎時にもお声掛けさせていただき、事を徹底していきます。 ・職員には、分からない事を、聞くことができる環境作りをし、質問にはしっかり応えていきます。
2	・低学年や高学年、中高生と学年での担当制にしているのに、急な職員の休み等で、普段担当していない学年を担当した時に、支援のムラがあるように思います。	・学年で担当制にしていたのが要因です。	・来年度から、学年での担当制から縦割りでの担当制にしていきます。 ・職員間での情報共有を密にしながら、全職員がどのお子さまに対しても統一した支援ができるようにしていきます。
3	・全職員が外部研修を受ける機会を設けていなかったと思います。	・主に常勤職員に外部研修を提案していたのが要因です。	・職員が見える場所に外部研修のお知らせを貼り、情報提供しながら声掛けしていき、受講の提案をしていきます。